

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 09-029

PDCA	事務事業名	雁宿駐車場管理運営事業	部課等名	総務部 防災交通課 交通防犯担当	担当	羽山	
					内線等	286	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 3. 交通体系 単位施策： (3) 駐車場・駐輪場の整備 個別施策： ①駐車場の有効利用					
	根拠法令等	半田市雁宿駐車場条例・半田市雁宿駐車場施行規則					
	対象・目的	半田市の中心市街地であり、商業・公的施設が集積し、知多半田駅という交通の結節点に位置する市営駐車場として、都市交通環境の改善と秩序ある自動車利用の促進及びマイカー通勤の抑制を図る。併せて隣接する雁宿ホール駐車場との一体利用を促進する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市雁宿駐車場を平成4年4月1日にパーク・アンド・ライド方式を導入して供用開始した。収容台数は261台で、管理業務は、社会福祉法人ダブルエッチジェーに委託して運営している。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①雁宿駐車場の利用台数		66,791	66,706	42,388	台
		事業費		17,679	22,880	26,075	千円
		人件費		2,001	2,922	2,111	千円
		総事業費		19,680	25,802	28,186	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	①雁宿駐車場利用台数1台あたりのコスト		295	389	665	円	
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①雁宿駐車場の使用料収入	実績値	27,377	28,762	14,978	千円
			目標値	24,000	24,000	24,000	
		②定期契約者数（年度末時点）	実績値	204	179	172	人
			目標値	200	200	200	
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性	効率性		
	①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある	
	②市民ニーズ	低い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更		
事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	C 使用料及び雁宿ホール利用者減免負担金を合わせた収入は14,977千円で対前年比48%の減となり目標値を9,022千円下回った。イベントの中止や利用者人数の制限による雁宿ホール利用者減が主要因であり、定期契約は付近事業所の人事異動や在宅勤務への移行等のため減少。周辺事業所への営業や市報掲載、場内掲示等を実施し、新規契約を得たものの契約者総数の増加に転じることはできなかった。一方、施設面では、築29年を迎え、老朽化に伴う修繕や設備更新が必要となっており、消防設備や照明を修繕したほか、エレベーター設備を部分更新し利用環境の向上を図った。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		安定的な財源確保のため、市報等による広報や周辺事業所への営業の継続により定期契約者数の増加を図る。また、施設面では随時の部分修繕に加え、老朽化した設備の更新を計画的に行い利用環境の整備を進める。					
	令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①雁宿駐車場の使用料収入			20,000	千円	
②定期契約者数（年度末時点）			200	人			